

農 研 速 報

平成 29 年 6 月 26 日発行



県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(6月16日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考												
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月27日	「あきたこまち」 幼穂形成期 「コシヒカリ」 最高分けつ期	「あきたこまち」 平年並 (幼穂長からの 出穂予測) 「コシヒカリ」 3日早い (主稈葉数からの 予測)	<p>◇4月第6半旬～6月第3半旬は、平均気温、日照時間ともに平年並で推移した。 「あきたこまち」は、6月16日時点で幼穂が0.8mm確認できた。 幼穂長から予測される出穂期は平年並で、7月13日頃である(今後気温が平年並に推移した場合)。</p> <p>「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年より3日早い。 平年に比べ、両品種の草丈はやや長く、葉色は「あきたこまち」で極く淡く、「コシヒカリ」で淡い。</p> <p>◆今後の栽培管理 (1)「あきたこまち」は間断かんがいをを行う。ただし、減数分裂期頃(出穂前 8～15 日)に17℃以下の低温が予想される場合、障害不稈の発生を軽減するため、水深10 cm以上の深水管理を行う。 「コシヒカリ」は6月第6半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断かんがいに移行する。 (2)穂肥は幼穂長を確認し適期に行う。穂肥の施用時期の目安は以下のとおり。</p> <table><tr><td>品種</td><td>出穂前日数</td><td>幼穂長(mm)</td></tr><tr><td>あきたこまち</td><td>18～20日ごろ</td><td>3～10</td></tr><tr><td>コシヒカリ</td><td>15日ごろ</td><td>30</td></tr><tr><td>ふくまる</td><td>18日ごろ</td><td>10</td></tr></table>	品種	出穂前日数	幼穂長(mm)	あきたこまち	18～20日ごろ	3～10	コシヒカリ	15日ごろ	30	ふくまる	18日ごろ	10	<p>間断かんがいは3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す。</p> <p>●イネ縞葉枯病の防除 昨年、イネ縞葉枯病の発生が認められた地域で、本年、ウンカ類に登録のある薬剤で育苗箱施薬を行わなかった水田では、6 月下旬にヒメビウカ類の防除を行う。</p> <p>●いもち病に注意 気温 20～25℃で、弱い雨や霧などが続いてイネの葉が長時間濡れるような条件のとき発生しやすいので注意する。</p> <p>●いもち・紋枯病の発生する圃場では、玄米千粒重の低下と乳白米の発生が懸念されるため、早期に防除を行う。</p>
品種	出穂前日数	幼穂長(mm)															
あきたこまち	18～20日ごろ	3～10															
コシヒカリ	15日ごろ	30															
ふくまる	18日ごろ	10															

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	5 月 8 日	「あきたこまち」 節間伸長開始期 「コシヒカリ」 最高分けつ期	3 日程度 早い (主稈葉数からの 予測)	<p>◇5 月第 2 半旬～6 月第 3 半旬は、平均気温が平年よりやや高く(+0.4℃)、日照時間はやや少なく(93%)推移した。</p> <p>主稈葉数の展開からみた「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は、平年より 3 日程度進んでいる。</p> <p>両品種の草丈は平年よりやや長く、葉色は平年並である。</p> <p>◆今後の栽培管理 「あきたこまち」は 6 月第 5 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、その後は間断かんがいを行う。ただし、低温が予想される場合には、障害不稔の発生を軽減するため、穎花分化期～減数分裂期(出穂前 25～12 日)にかけて水深 10cm 以上の深水管理を行う。</p> <p>「コシヒカリ」は 7 月第 1 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断かんがいに移行する。</p>	

水 稻 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表1 4月27日移植（龍ヶ崎市，移植後50日，6月16日調査）

品 種	草 丈			茎 数			葉色（カラススケール）			葉色（SPAD）			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	53.1	104 (50.8)	105 (50.5)	697	81 (860)	87 (806)	3.1	-0.7 (3.8)	-1.2 (4.3)	36.1	+0.5 (35.6)	-2.4 (38.5)	9.9	+0.1 (9.8)	+0.3 (9.6)
コシヒカリ	53.8	106 (50.9)	105 (51.0)	734	79 (929)	82 (891)	3.4	-0.7 (4.1)	-0.7 (4.1)	35.0	-0.7 (35.7)	-1.2 (36.2)	9.8	±0 (9.8)	+0.3 (9.5)
ふくまる	55.4	102 (54.5)	102 (54.4)	706	88 (804)	95 (740)	3.2	-0.8 (4.0)	-0.9 (4.1)	34.8	-1.0 (35.8)	-1.4 (36.2)	10.2	-0.3 (10.5)	±0 (10.2)

表2 5月8日移植（龍ヶ崎市，移植後39日，6月16日調査）

品 種	草 丈			茎 数			葉色（カラススケール）			葉色（SPAD）			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	44.9	96 (47.0)	105 (42.8)	861	104 (827)	115 (749)	4.4	-0.2 (4.6)	-0.2 (4.6)	41.9	±0 (41.9)	+1.3 (40.6)	9.3	+0.2 (9.1)	+0.3 (9.0)
コシヒカリ	46.2	99 (46.7)	107 (43.1)	781	85 (923)	93 (839)	4.3	+0.1 (4.2)	-0.1 (4.4)	40.7	+2.2 (38.5)	+2.3 (38.4)	9.3	+0.2 (9.1)	+0.3 (9.0)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 栽培概要

1.苗質：稚苗

2.植え付け本数：5本/株

3.基肥量：

あきたこまち N:P₂O₅:K₂O = 0.7:0.7:0.7(kg/a)

コシヒカリ N:P₂O₅:K₂O = 0.6:0.6:0.6(kg/a)

ふくまる N:P₂O₅:K₂O = 0.8:0.8:0.8(kg/a)

4.栽植密度(株/㎡)：

現地の実情を踏まえ、本年から一部変更

	本年	前年	平年
あきたこまち	18.5	22.2	22.2
コシヒカリ	15.2	22.2	22.2
ふくまる	18.5	18.5	18.5

5.平年値：平成24～28年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため、平年値は平成25～28年の4年間の平均値

表3 幼穂長からみた出穂期予測

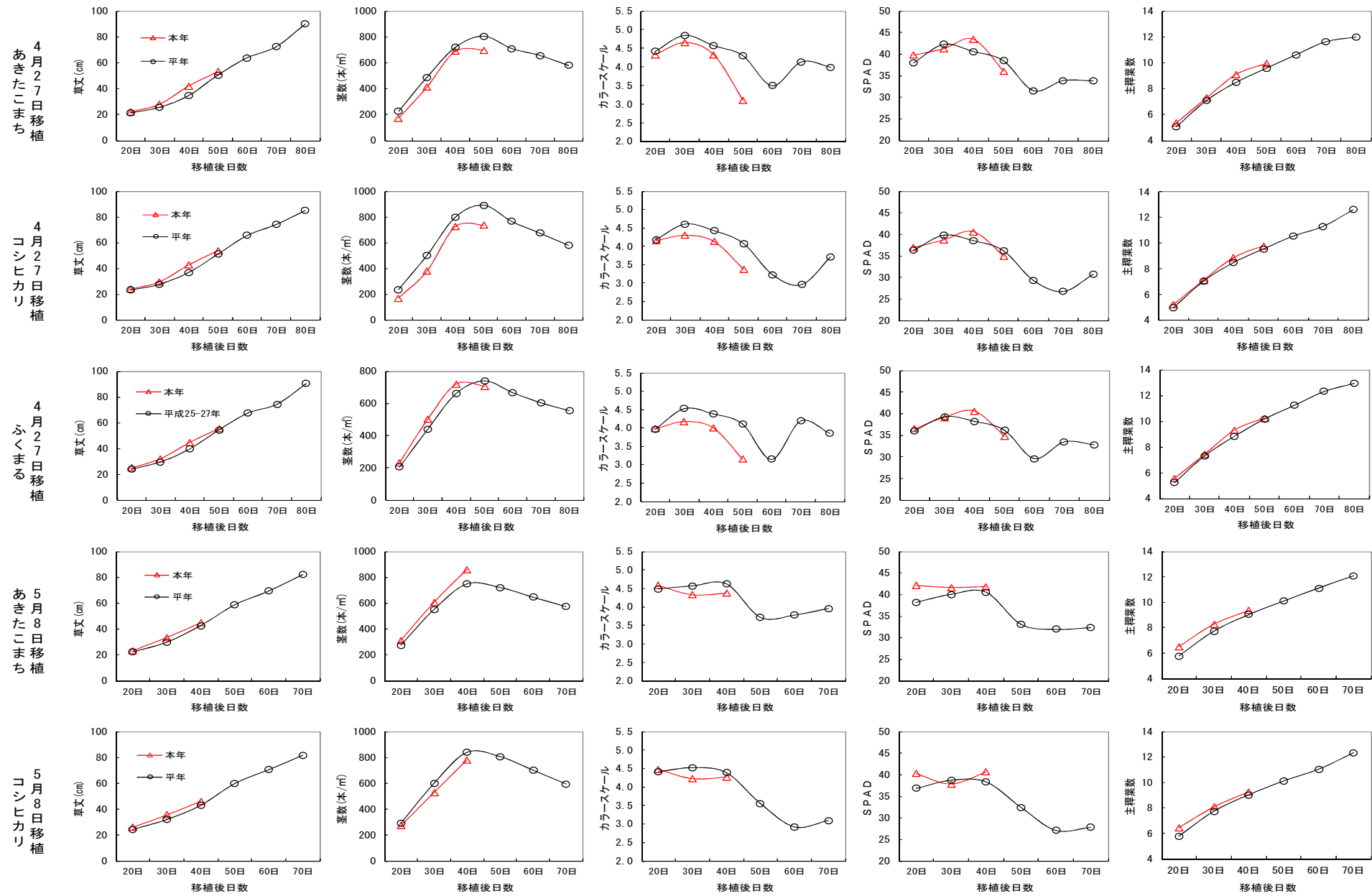
移植時期	品 種	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測		
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
4/27移植	あきたこまち	6/16	0.8	0.3	7/13	7/13	±0

注) 予測は平成16、18年度成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく。

今後気温が平年並に推移した場合の予測。

※ 平年値：平成24～28年の5年間の平均値。

平成29年の生育経過グラフ



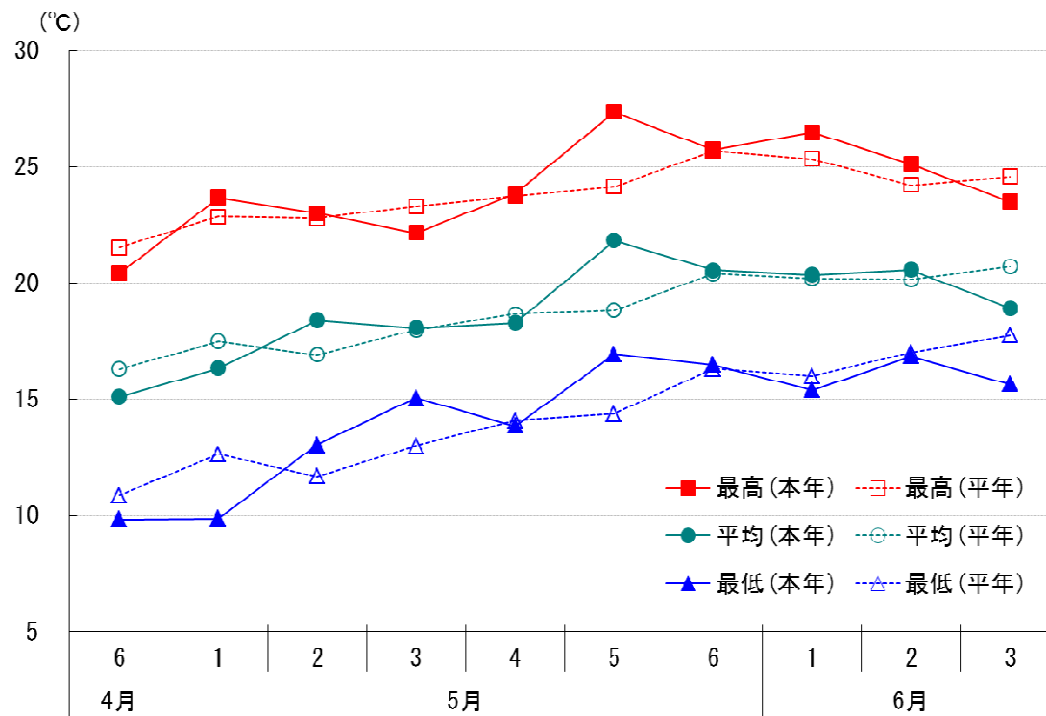


図1 半旬別気温の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H24～28年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

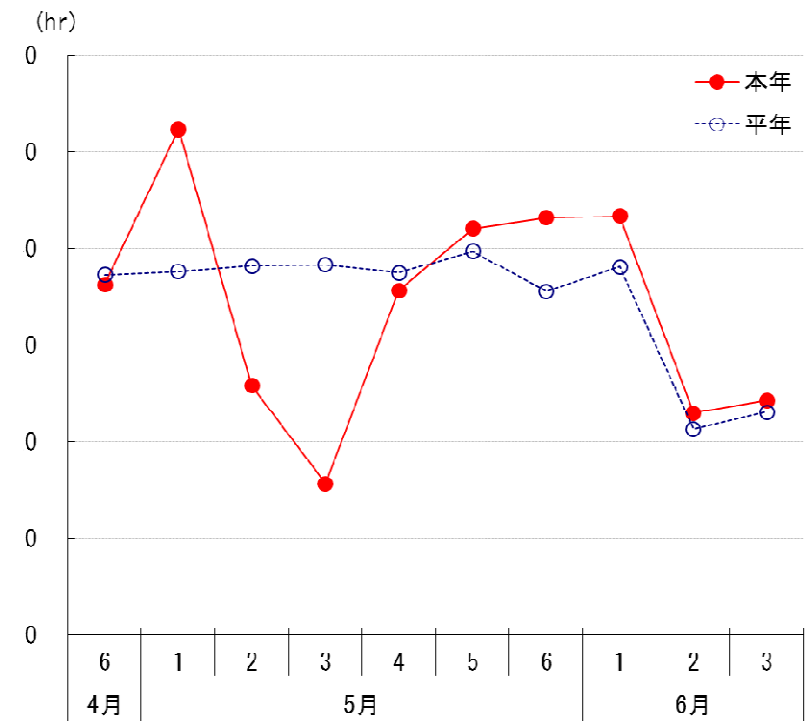


図2 半旬別日照時間の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H24～28年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

表4 移植時期別気象条件（龍ヶ崎市）

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
4月27日移植	4月第6半旬～6月第3半旬	18.8	18.8	±0	963	959	+4	342	347	99
5月8日移植	5月第2半旬～6月第3半旬	19.6	19.2	+0.4	806	790	+16	253	272	93

注）平年値：平成24～28年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

【 4 月 27 日移植の生育状況 】 撮影日:6/16

あきたこまち



コシヒカリ



ふくまる



【 5 月 8 日移植の生育状況 】 撮影日:6/16

あきたこまち



コシヒカリ

